

**12月10日（日） 千葉大生が八犬士を演じる
創作狂言「里見八犬伝 其ノ壱（エピソード ワン）」上演
見る、知る、伝える千葉～創作狂言～プロジェクト**

千葉大学は、12月10日（日）千葉文化会館にて、公益財団法人千葉県文化振興財団と連携して、創作狂言を上演します。今回の公演は里見八犬伝を大胆に狂言にリメイクした「創作狂言里見八犬伝」シリーズの第二弾。前作は玉が飛び散るまでのエピソードでしたが、今作ではいよいよ八犬士が登場します！「勸善懲悪ってなんだ」をテーマにした、一味も二味も違う八犬士の物語をぜひご覧ください。

■創作狂言「里見八犬伝」について

本公演は、千葉にまつわる物語や伝承を狂言にし、伝統を繋いでいく「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～プロジェクト」(<http://www.cbs.or.jp/zaidan/kyogen/>)の一環です。和泉流狂言師・小笠原匡を中心に、千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、公益財団法人千葉県文化振興財団、県民が連携し、新たな狂言を創り上げてきました。プロジェクト開始から10年以上を数えます。

千葉大生は、普遍教育教養展開科目「伝統文化をつくるA・B・C」において、チラシ・ポスターやパンフレット、小道具の作成、広報活動を行っています。さらに、今年度は、千葉大生が本公演の主人公・犬塚信乃、犬川荘介、犬山道節をはじめ、重要な役柄をつとめます。狂言の本格的な稽古や、プロの俳優による殺陣指導を受けつつ、市民ワークショップ参加者とともに、舞台を作りあげます。なお、第一部に古典狂言「清水」の上演も行われます。

日時 12月10日(日) 14時開演

場所 千葉県文化会館小ホール

料金 〔全席自由〕一般2,000円、学生1,000円

プレイガイド 千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>



▲昨年の公演の様子



▲狂言ワークショップの様子



▲小道具の作成

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
国際教養学部 普遍教育係
TEL:043-290-3614 メール: dcf3613@office.chiba-u.jp

「勸善懲悪」って何だ。



千葉県文化会館
開館50周年記念事業
見る、知る、伝える千葉
創作狂言

里見八犬伝 其ノ巻

エピソードワン

狂言師
小笠原匡



第一部

創作狂言とは

狂言「清水」

出演／(シテ 太郎冠者)小笠原匡
(アド 主人)山下浩一郎

第二部

創作狂言「里見八犬伝 其ノ巻」

作・演出／小笠原匡

制作協力／千葉大学

出演／小笠原匡 青山郁彦 山下浩一郎

若菜の会 千葉大生 狂言体験講座参加者

平成29年12月10日(日)午後2時開演

千葉県文化会館 小ホール

全席自由2,000円 学生1,000円(税込)

※午後1時より座席引き換えを行います。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

主催: 千葉県文化会館 (公財)千葉県文化振興財団

後援: 千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、館山市教育委員会、南房総市教育委員会

運営: 見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

助成: 芸術文化振興基金

チラシデザイン: 千葉大学文学部1年 椎名明日香

50th Anniversary
千葉県文化会館



芸術文化振興基金

Facebook

第一部	創作狂言とは 講師 小笠原 匡	狂言についての知識や演技方法を、実演を交えながら解りやすく説明します。
	狂言「清水」 <small>しみず</small>	流行の茶会に出す清水（＝湧き水）を汲んでくるよう命じられた太郎冠者は、気が進まないことから、清水に鬼が出て襲われて、秘蔵の手桶も捨ててきたと嘘をつきます。主人が自ら取り返しに行くというので、慌てた召使いは一計を案じて…
第二部	創作狂言「里見八犬伝 其ノ巻」 <small>エピソードワン</small>	<p>本作は、江戸時代の後期に曲亭馬琴によって著された『南総里見八犬伝』を原作とした創作狂言です。</p> <p>愛犬八房の妻となった伏姫が自害し、八つの玉が四方に飛び散ってから数年。犬塚信乃は、父の死によって、足利家の宝刀村雨丸を受け継ぎます。その際、「孝」の字が浮き出た玉と、ぼたんの花の形をした痣も得た信乃は、引き取られた伯母夫婦の家で、自分と同じ形の痣と「義」の字の玉を持つ額蔵と出会いました。義兄弟の契りを結んだ二人でしたが、やがて信乃は、村雨丸を献上するために、許嫁の浜路を置いて旅立つことに…</p> <p>不思議な縁に導かれるように集う、同じ玉と痣を持つ若者たち。物語の本格的な幕開けを告げる、創作狂言版八犬伝の第2弾です。</p>



おがさわら 匡
小笠原 匡

狂言方 和泉流 公益社団法人・能楽協会会員
日本能楽会会員 重要無形文化財総合指定保持者

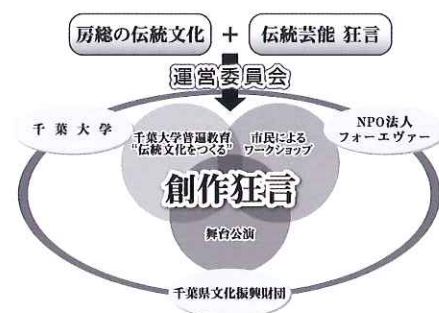
1965年生まれ。初世 野村 萬（人間国宝）、故8世 野村 万蔵、9世 野村 万蔵に師事。狂言の大曲「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。2006年より「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」をプロデュース、毎年千葉県の神話、民話、風習を創作狂言に劇作・演出。NHK大河ドラマ「義経」、金曜時代劇「出雲の阿国」芸能指導、朝の連続ドラマ小説「カーネーション」・「ごちそうさん」所作指導。2012年より桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代的実践について」にて毎年ヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇コンメディア・デッラルテのシンポジウム、WS、公演を行う。2016年よりパリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学客員教授。ホームページ <http://atelier-oga.com/>

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト

～古くて新しい伝統文化への取り組み～

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、千葉県文化振興財団、県民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



◇連動企画◇

いのはなカルチャーコレクション

千葉の歴史講座

～里見氏と『南総里見八犬伝』～

南房総を舞台とする『南総里見八犬伝』について、初めての方でも分かりやすい講座を開催します。

講師／岡田晃司（館山市立博物館 副参事）

平成29年11月22日（水）

午後2時開演（午後1時30分開場）

全席自由500円（税込）